

第1章 聖徳グループ保育理念

		項目	ページ	評価	評価・課題
第1章	聖徳グループ保育理念	園の保育理念や基本方針 真宗保育の理念 聖徳グループ職員という意識 職務分担	1~10	A	出勤後、お内仏に手を合わせる事が習慣付き保育理念をミーティングで唱えていることで理解が深まっている。協力して保育を進めたり相談し合える仲間がいることで働きやすい環境である。。

第2章 総則

		項目	ページ	評価	評価・課題	
第2章 総則	① 保育所保育に関する基本原則	保育所保育に関する基本原則 ・保育所の役割 ・保育の目標 ・保育の方法 ・保育環境 ・保育所の社会的責任	11~22	A	自園の保育のねらいや内容を理解してはいるが、保育所保育指針については大まかな理解のみになっている職員もいる為、触れる機会を設け理解していきたい。	
	② 養護に関する基本的事項	養護に関する基本的事項 ・養護の理念 ・生命の保持 ・情緒の安定	23~35	A	月齢に合わせた一人一人の年間養護計画を作成し、又毎月それぞれの成長に合わせた月別の計画を立て目標を達成できるよう丁寧に関わっています。	
	保育の計画及び評価	・全体的な計画の作成 ・指導計画の展開 ・保育内容 等の評価 ・評価を踏まえた計画の改善	36~41	A	全体的な保育計画のもと、子ども達の姿をクラスごとに話し合い、きちんと計画を立てて保育を行っていた。	
	保育の計画及び評価	保育の内容 ① 保育の環境		42~50	A	保育の環境整備は季節ごとに個別教材やインテリアを変えたり、発達に合った物的環境も意識してきた。
		保育の内容 ② 乳児保育		51~72	A	保護者との信頼関係を築き連携を取りながら一人一人日成長に合わせた快適で安心できる環境で保育していた。
保育の内容 ③ 長時間保育			73~78	A	子ども達が安心し、寂しさを感じない楽しい雰囲気の中保育を行った	
保育の内容 ④ 障害がある子どもの保育			79~89	A	個別支援計画を立て、園全体で把握している。保護者からの相談もその都度対応し信頼関係が作れている。	
保育の内容 ⑤ 子どもの人権		90~96	A	職員内でジェンダーレスの先入観はなく、多国籍の園児を写真などで紹介するなど文化を認め合ってきた。		

第3章 保育の内容

		項目	ページ	評価	評価・課題	
第3章 保育の 内容	保育の内容 ねらい	乳幼児期に関わるねらいと内容	97～112	A	安心できる空間と人的環境を整えた保育と一人一人の欲求を満たせるよう心掛けてきた。	
		教育 3歳未満児保育（1.2歳児保育） ① 健康	113～125	A	一人一人の気持ちを汲み取り欲求を満たせるよう心掛けてきた。散歩に出かける	
		教育 3歳未満児保育（1.2歳児保育） ② 人間関係	126～142	A	等園外での活動も取り入れ、木の実探しなど自然物に触れたり、歩きながら地域の方に挨拶する等交流体験なども行った。	
		教育 3歳未満児保育（1.2歳児保育） ③ 環境	143～158	A	集団遊びではルールを知らせながら相互間の思いに気づき楽しめるように配慮した。異年齢児交流から思いやる心を育む経験もできた。個別保育の中では発達に合わせた様々な教具を通して成長を促すことが出来た。	
		教育 3歳未満児保育（1.2歳児保育） ④ 言葉	159～177	A		
		教育 3歳未満児保育（1.2歳児保育） ⑤ 表現	178～190	A		
			教育 3歳以上児保育 ① 健康	191～203	A	一人一人の発達に合わせた関わりを持つことを意識し、集団生活の中で思いやる心を伝え、個別保育を通して生活に必要なルールや文化、作法を伝える事が出来た。また行事を通して充実感や達成から、自信に繋がっていく様子が見られた。
			教育 3歳以上児保育 ② 人間関係	204～220	A	
			教育 3歳以上児保育 ③ 環境	221～236	A	
			教育 3歳以上児保育 ④ 言葉	237～255	A	
			教育 3歳以上児保育 ⑤ 表現	256～268	A	
	保育の内容 の留意事項		① 保育課程	269～273	B	保育過程は知っているが自信を持って答えられるかと言われると自信がない。園内研修などで行っていきたい。
			② 指導計画 策定	274～291	A	指導計画は、年間計画に基づいて作成し、子どもに対して丁寧に関わるよう心がけてきた。。
			小学校との連携	292～300	A	小学校交流の参加、保育要録を通して就学時の様子を伝えた。また、5歳児研修で育ってほしい10の姿を確認し、保育に取り入れた。
			保育内容の自己評価	301～309	A	自己評価の意味を知り、振り返る事で次年度に繋げていく事を理解している。また職員同士が気軽に相談や質問のできる環境にある。

第4章 健康及び安全

		項目	番号	評価	評価・課題
第4章 健康及 び安全	子どもの 健康支援	子どもの健康支援	310~321	A	定期的な身体の記録や感染症発生時は速やかに保護者に掲示し知らせている。また児童表に成育歴など保管してあり把握している。
	食育の 推進	食育の推進	322~335	A	一人一人の食べられる量を調節し挨拶を行い感謝の気持ちを伝えていった。アレルギーのある園児の対応も十分配慮している。。
	環境及び 衛生管理	環境及び衛生管理	336~341	A	遊具の消毒を定期的に行い衛生面で配慮した。暑さや感染症対策を行い、園児が快適に過ごせる保育を行っていった。
	災害への 備え	・安全管理 ・災害への備え	342~349	A	毎朝安全チェックを行っている。また避難・防犯訓練・備蓄の点検を定期的に行い、災害に備えている。

第5章 保護者に対する支援

		項目	番号	評価	評価・課題
第5章 保護者 に対す る支 援	入所してい る保護者に 対する支援	保育園に入所している子どもの保護者に対する支援	350~361	A	保護者には丁寧に関わり、相談があった時には静かな環境で話が聴けるよう配慮している。内容については全職員で共有し、児童表などに記録として残している。
	地域におけ る子育て支 援	地域における子育て支援	362~365	A	一時保育や子育て支援に力を入れ、昨年度よりも利用者が増えた。相談を受けたり入園につながったりする事もあった。。
	地域や関係 機関との連携	地域や関係機関との連携	366~371	A	年度初めに地域の方に挨拶に行き、散歩などでは子ども達と一緒に挨拶を交わすことが出来た。中高の保育体験受け入れも行った。

第6章 職員の資質

		項目	番号	評価	評価・課題
第6章 職員の 資質向 上	職員の 資質向上	・職員の資質向上 ・職員の研修 ・研修の実施体制	372~385	A	キャリアアップ研修の受講は予定通り終了し、園内研修も必要な内容を行うことが出来た。研修は復命を通し職員に周知することもあり、内容の共有も出来た。

【園全体の評価】

・今年度は・・・研修、個別保育の視察後に写真を提供し、全体周知を図った。が、視察の時期だけでなく、定期的に子どもの発達に沿った環境設定が望ましい。保育に使用する絵本・歌の選定、手遊び・シアター類の導入を、日々行いながら、子どもたちが楽しめる時間を多く持ってほしい。1年の保育を捉え、行事に落とし込めるよう、クラスの子どもの発達段階、興味のあるもの、を早く把握し、環境設定をしていく必要がある。

【来年度の課題】

- ・子どもが自分で遊びを選択し、自分で考えて行動できる基礎的な力を養うため、保育所保育指針を基本に、保育内容を確認し、全体で共有していく。
- ・子どもの発達を把握しつつ、個性を尊重し、あるがままの姿を受け入れ、寄り添っていく。
- ・行事や日々の保育の振り返りを大切に、改善をしていく。
- ・保育のスキルアップを図るため、研修などに積極的に参加し、個人、全体、園の必要な課題を共有し、改善していく。